

親切は、人と人との出会いから生まれます。
一つの出会いから、様々な出会いへとつながる心の輪が、
私たちの日常生活にはたくさんあります。



東京・八王子市議会議員の八木下輝一さんから、FACEBOOKに初めての投稿がありました。

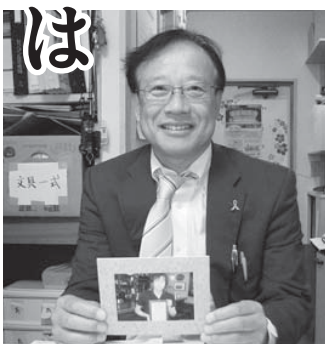
「長野市で、市長・市議会議員・自治体職員らおよそ2,400名が参加して開催された全国都市問題会議に参加してまいりました。会議前日は繁華街で夕食をとり、ホテルの近くのお店に立ち寄りお酒を飲みながら、長野市民と短い時間ではありましたが楽しいひとときを過ごすことができました。会議を終え、東京に戻り給油しようとしたときにカードの入った財布がなくなっていることに気がつきました。考えられるところをすべて探しましたが見つかりません。」

これを受け、運動本部は八木下議員の感謝の気持ちを届けようと、長野県本部の河辺事務局長に、「レドドラゴン（赤龍）オーナーの青龍秀行さんに「小さな親切」実行章の贈呈を依頼。開店前の店内で、河辺事務局長から青龍さんへ実行章を贈

呈しました。恐縮しながらも、早速、実行章の賞状をお店に飾ってくださいそうです。

後日、河辺事務局長が撮影した青龍さんの写真を持って、八木下議員をお訪ねしました。今回、青龍さんが拾ってくださったお財布の中には、お金には変えられないお嬢さんからの大切なプレゼントが入っていました。とても嬉しかったそうです。「最初はお礼としてお金や物を送ろうと用意をしたのですが、何か違うと思いました。感謝の気持ちをどうしたら伝えられるか」と迷っていたとき、たまたま「小さな親切」運動本部のホームページに行き当たり、FACEBOOKに投稿してくださったとのこと。

八木下議員は、「青龍さんからの優しさを心にとどめ、ほかの人にそれをわけてあげられるように、努めていきたいと思えます。これをご縁に、



恩人の青龍さんの写真を手にする八木下さん「感謝を表す、すてきな手段があってよかった」

「小さな親切」運動を応援します」と、事務所に青龍さんの写真を飾りました。



「小さな親切」実行章

感謝のしるし

ぜひ実行章を送りたいと手紙を書きました。元小学校校長だった大場事務局次長は、親切な生徒を見つげようと同校に照会したところ、すぐにその生徒を発見し、名前は寒河江麻益さんであるとの連絡が届きました。

実行章の贈呈は、親切を受けた林さん、同校の佐藤教頭も出席して山形県本部より行われました。「みんなが通り過ぎるのを見て、自分しかないと思つて勇気を出して声をかけました」と寒河江さん。林さんは「背負ったリュックが重くて困っていたときに寒河江さんに声を掛けていただいて、本当にうれしかったです。声をかけるのは大変なことだと思いますが、寒河江さんが勇気を出して声をかけてくれたときのうれしさは言葉では言い表すことができません。お礼を差し上げたいと思つていたところ、今回お名前がわかり、贈呈式にも出席できました。ありがとうございました」とお礼を述べました。

これには、もう一つの出来事があります。寒河江さんのおじいさんも数年前に実行章を受章していることが判明。親切の遺伝子が、おじいさんから麻益さんへとつながりました。

近頃の若者は、とは
言わせない。
そんな若者が増えています。



8月、山形県鶴岡市立温海中学校3年生の五十嵐心さん、鶴岡市立豊浦中学校3年生の菊地麻由さん、菊地奈央さんが一緒に道を歩いていたときのこと。大きな荷物を抱え大変そうなおばあさんに声をかけ、荷物を持つてあげました。一緒に歩きながら「どこに行かれるのですか？」と尋ねましたが答えがなく、無言のまま黙っています。このまま歩き続けたら、道に迷ってしまうかもしれないと心配をした3人は、鶴岡警察署駅前交番に連れていくことにしました。警察官から家族に連絡してもらい、おばあさんは無事家族に引き取られました。おばあさんは認知

症で、3人の高校生が声をかけなければ、家がわからないまま猛暑の中で歩き続け熱中症になっていたかもしれせん。3人の行動に感動した鶴岡警察署の生活安全課長から、「小さな親切」実行章の推薦が届きました。



上：写真左から大場山形県本部事務局次長、林さん、寒河江さん、佐藤教頭
下：玉ねぎを片付けた山内さん（左）と深澤さん



群馬県富岡支部に、「今年6月の朝8時、くるまやラーメンの交差点でトラックの積み荷のたまねぎが落下し、一面に散らばってしま

いました。そこへ通りかかった群馬県立富岡高等学校の2年生2人が車に気をつけながら、ころがったたまねぎを道路の脇に片付けはじめ、トラックの運転手が戻ってきたころには、すっかりきれいに片付いており、感謝をされていました。朝の車の往来が多く、学校に行かなければならない中を制服が汚れるのをいとわず、片付けた高校生の行為は私自身ともうれしかったです。この2人をぜひ誉めてあげてください」との匿名の手紙が寄せられました。

学校に問い合わせたところ、山内亮さん、深澤嘉紀さんであることが判明。「富岡のついで」に2人を招き、実行章を贈呈して2人を誉めたたえました。